

- 1 日時 令和7年11月〇〇日(〇) 第〇校時
- 2 学年 第1学年〇組
- 3 単元名 「きせつとなかよし あき」～あきをたのしもう～ 内容(5)(6)
- 4 単元について

#### 単元の目標

身近な秋の自然を見付けて観察したり、それらで遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けたり、それらで遊ぶ方法を考え、遊びを楽しく工夫してつくったりして、自然や生活の変化、自然を利用した遊びの面白さや自然の不思議さ、校庭や公園のきまりを守る大切さなどに気付き、みんなと楽しみながら季節の遊びや生活を創り出すことができるようにする。

#### 目指す子供の姿

- 秋の自然の様子や季節の変化、季節によって生活が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。
- 夏と秋の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使うものを試行錯誤しながら工夫してつくったりしている。
- 秋を生活に取り入れ、生活を楽しくしようしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出したりしようとしている。

#### 現在の子供の姿

本学級の児童は、「きせつとなかよし はる なつ」の春には、身近な自然を観察し、野の草やシロツメクサなどで遊ぶ経験をした。夏には水遊びをしたり、育てたアサガオで押し花や色水作りをしたりして、季節を楽しむ活動もした。春や夏の特徴や変化については、よく気付くことができた。四季については知っており、桜は春に花が咲くことは分かっているが、夏や秋の様子はよく分かっていた。

児童アンケートによると、自分の考えをもったり、いろいろな人の意見を聞いて、それについて考えたりすることができていないと感じる児童が1割近くいることが分かった。話し合いの場面では、「そうなんだね。」「いいね。」などの肯定的な言葉を使って反応できる児童が増えつつある。しかし、自分の考えをあまりもっていないことにより、自分の言葉で気付きや考えを説明したり、話し合ったりすることが難しい児童がいる。

#### 単元の価値

本単元は、自然と触れ合い、関わることを通して、四季の変化を感じ、また、見たり感じたりした秋を共有することで、より秋を身近に感じることをねらいとしている。校内にはビオトープ、地域には公園や病院の庭、幼稚園の森などがあり、自然に恵まれている。春や夏に季節を感じる活動をした経験を踏まえて、豊かな自然を体感させることができる。自然の中で五感を使い、全身的な活動をすることで、言葉や動作で表現することや、自然物を使って遊ぶことの楽しさに気付くことができるようになる。自分の活動を試行錯誤しながら発展させたり、グループで知恵を絞って、よりよいものを創り出そうとしたりすることも予想される。こうした遊びによって、互いの関係が豊かになり、毎日の生活が充実していくことが期待できる。

園児との交流を設定することによって、相手に合わせて適切に関わり、自分自身の言葉や振舞いを見つめ直して活動する実践的な力も育てることができる。

#### 働きかけ・環境設定

導入では、夏より涼しくなってきたこと、教師(児童)が見付けた秋の自然物などを切り口に、秋と仲良くなる方法を皆で考える場を設定し、それぞれの思いや願いを実現することを大切にする。

秋の変化を視覚的に捉えやすいように、地域の公園やまちの様子などの写真を随時掲示していく。

近くの幼稚園児と交流しながら、森でいろいろな種類の落ち葉を集めたり、秋の自然物を使ったおもちゃと一緒に遊んだりする予定である。春からペアを組んで関わってきた園児のことを考えながら、遊びを改良して楽しむ経験をさせる。

教室には、集めたどんぐりや紅葉した葉、植物図鑑や絵本などを置いて自由に関わることができるようにしたり、疑問や気付きを皆で共有しやすいように付箋を貼って掲示するコーナーなどを設けたりする。環境を工夫することで、日常的に秋を感じられるような働きかけができると考える。活動場面では、同じ遊びのグループで集まったり、〇〇ルームに、児童が希望した材料や用具を自由に使えるように、コーナーを設けたりして、それぞれの思いや願いが達成できたという手応えをもたせたい。お互いの困りごとを相談できるような場も設定する。試行錯誤できる時間と場を想定して計画を立てる。児童が考えていることや、ふとやってみたことなどを教師が細かく見取り、価値付けて全体で紹介できるようにする。落ち葉が乾燥して使えなくなるなど、児童の思い通りにならないことも予想されるが、失敗に学びながら成功体験につなげられるように、助言を丁寧に行いたい。

よりよく話し合うために、アクティブリアクションを定着させておきたい。振り返りも大切にして、自分の気付きを友達の気付きと関連させながら、学習を深められるようにする。

### つながる学び

【生活科】「きせつとなかよし はる なつ」の学習では、幼稚園や保育園の園児と、幼稚園の「ぼうけんの森」で春見付けをしたり、夏の水遊びを一緒に活動したりすることを通して、自然に親しみ、季節の特徴に気付いた経験を生かした秋の学習に発展することができる。また、アサガオのつるで作ったリースに、秋の実を利用して飾る活動をすることで、生活科「きれいにさいてね わたしのはな」とつなげることができる。

【音楽科】「ねいろとつよさ」の学習の中で、秋の自然物の楽器を演奏して楽しむことができる。

【国語科】「しらせたいな 見せたいな」で、対象を詳しく観察し、気付いたことを人に知らせる文章を書くことを学習する。「みんなにしらせよう」では、相手意識をもって話す学習をした経験を生かして、園児を意識してグループで話し合いをしたり、園児に分かりやすい説明を考えたりすることができる。

【図画工作科】「かざってなにいれよう」で、秋の自然物の特徴を生かして、入れ物を飾ることができる。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 身近な自然を観察したり、自然の中で遊んだり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びの面白さや自然の不思議さに気付いている。校庭や公園のルールやマナーが大切なことやそれを守って遊ぶと楽しいことに気付いている。	○ 身近な自然を観察したり、自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、夏と秋の違いや特徴を見付けたり、遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	○ 身近な自然を観察したり、自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋を生活に取り入れ、生活を楽しくしようとしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりしている。
① 活動を通して、秋の自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分の生活と関係していることに気付いている。	① 楽しみたい遊びを思い描きながら、秋の自然の中から遊びに使う物を選んでいる。	① みんなで楽しく遊びたいという願いをもち、繰り返し秋の自然と触れ合おうとしている。
② 秋の自然を利用して遊ぶ面白さや、遊びを工夫したり遊びを創り出したりすることの面白さに気付いている。	② 比べたり、たどったり、試したり、見通したりしながら、遊び自体を工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	② 友達の考えのよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりして、遊びを楽しくしようとしている。
③ 校庭や公園のルールやマナーを守って遊ぶと楽しいことや、遊ぶ準備や片付けの大切さに気付いている。	③ 身近な自然が自分たちの生活と関わっていることや、工夫したり楽しく遊んだりしたことを振り返り、表現している。	③ 活動を通して、気付いたことを生活に生かしたり、もっと調べてみようと思ったりして、自分たちの生活を豊かにしようとしている。

## 6 指導と評価の計画（全 20 時間）

小単元名	主な活動内容	知	思	態	評価方法
ともみなみの あきをみつけに いこう  (3h)	秋について知っていることや、やってみたいことについて話し合う。(事前アンケート)	①			行動 発言
	校内のビオトープや地域の公園で秋を探し、夏と比べながら、秋を感じる。(常時)	③		①	行動 発言
	見つけた秋について、気付きをワークシートに書き、伝え合う。	①			発言 ワークシート
あきであそぼう	もっと秋を見付けるための話し合いをする。「ぼうけんの森」へ行く計画を立てる。			①	行動 発言
	園児と交流しながら「ぼうけんの森」で遊ぶ。	③		②	行動 発言 作品


(8 h)	集めた落ち葉を生かした遊びをする。(落ち葉でお絵かき、お面作り、衣装作りなど)	②			
	リハビリテーション病院にドングリの木があることを知り、行って実を集める。	③			行動 発言
	秋の葉や木の実を使って遊ぶと楽しそうなものを考え、つくってみる。(常時)		①		
みんなで あきの あそびをたのしもう    (本時1 / 9 h)	園児を招待して、どんな秋を楽しむ会ができるか話し合い、計画を立てる。		①		発言 ワークシート
	ペアの園児のことを思い浮かべながら、おもちゃの改良や、ルール工夫をしながら、試し遊びをする。(本時)		②		行動 発言
	準備、交流会、片付けをグループの友達と協力して行う。			③	行動 発言
	交流会を振り返り、気付いたことや成長についてワークシートに書き、全体で交流する。	②	③		発言 ワークシート
	秋について振り返り、秋の特徴や春や夏との違いを確かめ合う。		③	③	発言 ワークシート

## 7 本時の目標

園児のことを思い浮かべながら、秋の自然物を使ったおもちゃに工夫を加えた遊び方を考えることができる。

【 思考・判断・表現 ② 】

## 8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <p>2 めあてをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の活動に生かせるように、これまでにつくったり遊んだりした秋の遊びを掲示しておく。</li> <li>○ 意欲的に活動するために、これまで交流してきた園児を招待することを確認する。</li> </ul>
<p>ねんちょうさんと いっしょにたのしむ あそびをかんがえよう。</p>	
<p>3 前時に選んだ、おすすめの遊びに、招待する園児と楽しむことができる工夫を考え話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんぐりごまで競争するのは面白いね。〇〇くんは、競うのが好きだから喜んでくれそう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>まつぼっくりけん玉は、一緒に入ると楽しかったからおすすめ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>木の実の楽器も楽しそう。一緒に楽器を鳴らすとちょっと仲良くなれそう。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手意識をもって考えさせることで、ペアの園児と一緒に楽しめる遊びになることを確認する。</li> <li>○ 園児のやりたいことや願いを知ることが大切だと気付かせるために、情報提供（幼稚園の先生からの手紙）をする。</li> <li>○ 全体で発表するために、各自、おすすめの遊びをワークシートに書いて、互いの考えが共有できるようにする。</li> <li>○ 楽しいと思える「おすすめポイント」を声を掛けることで言語化し意識させる。</li> </ul>
<p>4 招待する園児と楽しむ遊びを、自分たちがつくった遊びのコーナーで試し遊びをしながら改良したり工夫したりする。</p> <p>5 全体で、工夫したところを発表し合う。</p>	<p style="text-align: center;">本時の見どころ【教師のファシリテート】</p> <p>★園児と一緒に楽しみたいという思いをもち、自分たちの経験をもとに工夫したり改良したりしたいところを考えさせる。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>どんぐりごまがいいと思います。どうしてかという、よく回るどんぐりごまをつくって競争すると、わくわくするからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>たぶん、〇〇さんたちは、やじろべえを知らないから、遊びを教えたら喜ぶんじゃないかな。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんぐり迷路は難しいほうが楽しいから、もっと工夫してつくりたいな。</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一緒に楽しめる活動になりそうな思いや、工夫したことを評価し、価値付けるようにする。</li> </ul>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>早く遊びたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〇〇ちゃんと〇〇したら、楽しそう。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めいろは、もう少し工夫して、楽しくしたいな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的に園児を意識した振り返りを評価する。</li> <li>○ 表現が難しい児童には、文型を示し、当てはめてワークシートに書くように支援する。</li> </ul>
<p>7 次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ わくわく感を高めるために、次の時間は、園児との交流会の準備を始めることを伝える。</li> </ul>

8-1 板書計画 ※これまで園児と交流した写真をテレビに映しておく。

め	ねんちょうさんと いっしょにたのしむ あそびをかんがえよう	ふりかえり
えんの先生から	くふうするところ	
すきなあそび	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><u>どんぐりごま</u> きょうそうしたら たのしそう</p> <p><u>さかなつり</u> いろんなはっぱを つかうとたのしめる たくさんつれると うれしいはず</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><u>がっき</u> みんなであわせると たのしい いっしょにつくったらよろこぶ</p> <p><u>ねんちょうさん</u> <u>めいろ</u> まようようにするとおもしろい <u>やじろべえ</u> おとしあなは、すくなめに はじめて 見るかも ジャンプしてもおちないとおどろくかな</p> </div> </div>	

9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p><b>【思考・判断・表現②】</b> 交流会に招待する園児が楽しめる遊びを、理由を付けて考える。 (発言・ワークシート)</p>	<p>○ 秋の自然物を使って、園児が楽しめる遊びを考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに、ペアの園児が楽しめそうな遊びを書く。</li> <li>・「○○ちゃんと、よく回るどんぐりごまで競争してみたい。」</li> <li>・「やじろべえの遊び方を教えたら、○○君は喜んでくれるかな。」</li> <li>・「けん玉の糸は、○○ちゃんには、短くしてあげたいな。」</li> </ul>

10 本時の見どころ

- ・ 園児と一緒に楽しみたいという思いをもち、自分たちの経験を基に挑戦してみたいこと、やりたいことを考え交流するところ。
- ・ 秋の自然の物を活用した遊びを経験しておくことで、もっとやってみたいという意欲が湧き、活動が意欲的になるところ。